

# 早稲田ラグビーが帝京ラグビーに勝つためには？

-FW と BK のどちらの強化が有効か？-

## Tactics study in FW and BK on Teikyo Rugby.

1 K09B1538

指導教員 主査 太田 章 先生

氏名 西橋 勇人

副査 島田 陽一 先生

### 【はじめに】

早稲田大学ラグビー蹴球部といえば展開ラグビーが魅力的である。ここ最近では大きなFWの選手もそろってきて今まで行ってきた展開ラグビーに大きなFWを加えてラグビーをやっている。私自身が高校時代にやり遂げることができなかったラグビーができるかもしれないという期待が大きかった。しかし、大きなFWがいると言っても他の大学と比べたら小柄である。特に現在3連覇という偉業を成し遂げた同志社大学と並ぶ3連覇の記録を持っている帝京大学は大きなFWを前面に出してトライを取って日本一に輝いている。そこで私は3連覇をしている帝京大学のFWとBKのどちらがトライをする事が多いのか、そこからFWとBKのどちらを強化した方が日本一に近づくのか知りたくて調べてみようと思った。

### 【現状】

FWでトライを取る場合は、多くのチームは体の大きなFWの選手をペナルティーキックやタッチキックを上手く利用し敵陣に入れて、そこからラインアウトモールや、ラックからモールを作り直し相手FWを押し切ってトライを取っている。また、大きなFWの選手をBKラインに入れて相手BKの選手と味方のFW選手との身体の差を狙い力づくでトライを取ることもある。それからショートサイドを攻めてトライを取ることがある。

### 【仮説】

FWでトライを取る時は基本的にモールを作って押し切りトライをする事が多いが、モールでトライをするにはFWの体重が重いこと、それから相手FWよりも低い姿勢で組むこと、仲間同士固まって押すことが重要である。このことから、モールは相手FWの総体重が味方FWの総体重を上回っていても、上記の三つのうちいずれかの二つが出来れば相手FWからトライを奪うことができるのでモールトライは練習したら毎試合トライ一本は取れるのではないかと自分は考える。

BKでトライを取る時は基本的に相手BKの人数より味方BKの人数が多くなるとトライを取れる確率は少ないと考える。セットプレーからのサインプレーでトライを取るとは相手BKのDFの足をしっかりと止めなくてはならない。さらに、相手BKのDFの足を止めることができたとしても味方のパスが必ず成功するとは限らないのでセットプレーからのサインプレーで一気にトライまで持っていくことは簡単なことではないので難しいと自分は考える。

以上のことからルール変更を受けてから、トライをとりやすくなったのはFWではないかと考える。よって現在大学選手権3連覇を成し遂げている帝京大学もともと強みとしているFWでのトライ数が多いのではないかと考える。しかし、帝京大学と同様に大きなFWを強みとしているチームはあり、そういうチームに対しても帝京大学がFW戦を前面に出して戦っているかは疑問が残る。上記もしたが4つの方法で分析を実施したらこれらの疑問が解消されると期待できるので、以下に分析結果を述べていきたい。

### 【研究方法】

同志社大学に続き2009年から3年連続大学日本一を達成している帝京大学の試合を研究対象にした。調査するのは実際に大学日本一になっている、2009年～2011年の関東大学対抗戦から全日本大学選手権の計33試合からトライシーンを抽出し、以下の通りに分析を実施した。

①各年の関東大学対抗戦(9月～12月)の試合におけるFWとBKのトライの数の比較

②各年の大学選手権(12月～1月)の試合におけるFWとBKのトライの数の比較

③通年の試合におけるFWとBKのトライの数の比較

④対戦相手によるFWとBKのトライの数の比較

を実施した。

### 【結果・考察】

現在大学選手権3連覇を成し遂げている帝京大学のもとの強みとしているFWでのトライ数が多いのではないかと考える。しかし、帝京大学と同様に大きなFWを強みとしているチームはあり、そういうチームに対しても帝京大学がFW戦を前面に出して戦っているかは疑問が残る。分析を実施したらこれらの疑問が解消されると期待できるので、以下に分析結果を述べていきたい。

結果はFWよりもBKの方が得点を取ることが多いようだ。しかし、結果から逆の考え方もできる。どこのチームもFWの強化が進んできたからなかなかFWでのトライ数が増えなくなって来ているという考え方である。

### 【まとめ】

最近ではどこの大学でも大きい選手を揃えて大きいFW選手を育てるというのが多くなっている中でこれだけBKでトライを取っているということは大きなFWもそれなりに必要だが、一発でトライを取れるようなBKの存在がこれからの大学ラグビーでは必要ではないかと私は考える。